

米沢出身の画家本間国雄(国生 逸老庵 1889~1973)は代々米沢藩のお抱え能役者をつとめた家に生まれました。

画家を志して上京、白馬会洋画研究所で絵を学びます。のちに岸田劉生、萬鉄五郎らのヒュウザン会に参加するなど、中央美術界を舞台として活動しました。画家としての活動のかたわら、『文章世界』『中学世界』などの雑誌の挿絵、口絵等を担当し、東京日日新聞(現 毎日新聞)へ記者として勤め、漫画を描くなど明治末~大正期の大衆的で多様な美術界の渦中にありました。その後中央美術界から一度遠のき、国内外を放浪の日々を送ります。十数年ののち「水墨画家」として再び舞台に姿を見せ、自由で素朴な独自の表現を見出します。

本展覧会では、本間国雄の多様な仕事の中から、水墨作品の集大成である「水墨日本風物抄」(全62図)を中心に、初期の仕事や、兄本間久雄(英文学者 早稲田大学名誉教授)との関係を織り交ぜながら紹介します。



『東京日日新聞』掲載 (大正3年)



『文章世界』8巻13号 表紙(大正2年)

【会期中のイベント】

◎ギャラリートーク(当館学芸員による展示解説)

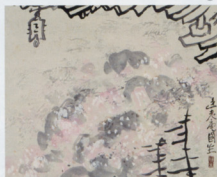
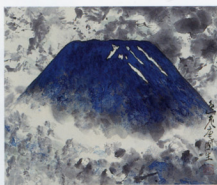
11月12日(土)、11月26日(土)
それぞれ14:00~ 企画展示室
※申込不要 要入館料

◎募集制ワークショップ

「ナイトアール・ようこそ夜の博物館へ 本間国雄の世界」
12月9日(金)19:00~ 企画展示室
対象:高校生以上20名 参加費500円
※申込受付開始 11月9日(水)~
(0238-26-8001教育普及担当)

◎自由参加制ワークショップ

「やしろべえをつくらう~バランスであそぼう~」
12月17日(土)13:30~ 体験学習室
参加無料 申込不要
※材料がなくなり次第終了



本間国雄展



水墨日本風物抄より

- ①第一図「千古の雪」
 - ②第五図「吉野の春」
 - ③第三十図「那智」
 - ④第三四図「上野夜桜」
 - ⑤第四二図「笹野こけし」
- 紙本墨画淡彩 昭和30~40年代

置賜文化ホールからのお知らせ(お問合せ 0238-26-2666)

開館10周年記念「金剛流能公演」

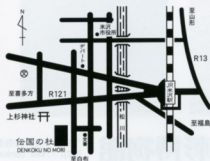
*本事業は、広くの収益による助成を受け実施しています。

11月12日(土)13:00開場/13:30開演
A席3,500円 B席3,000円 自由席一般券2,500円 自由席学生券1,500円(当日各500円増)
能「紅葉狩」金剛永護(金剛流二十六世宗家)、狂言「寝音曲」野村萬(狂言方と泉流 人間国宝)
舞囃子「高砂」今井清隆、100人の謡曲「鶴亀」、伝国の社こども狂言クラブ「盆山」

プラス・クインテット・ウィーン=ベルリン

2012年2月2日(木)18:00開場 18時30分開演
指定席3,000円 自由席一般2,500円 自由席学生券1,500円(当日各500円増)
チケット発売 11月10日(木)一般発売 11月2日(水)FC会員先行予約
世界最高峰、ベルリン フィルとウィーン フィルの美しき響きを支える名手たちがスペシャル・ユニットを編成。

次回展覧会 開館10周年記念 企画展
よみがえる赤羽刀~米沢ゆかりの刀剣~ 平成24年1月28日(土)~3月4日(日)



■JR米沢駅から2km、上杉神社南側
■市内循環バス「上杉神社前」下車
■山形農工IC 福島版ICよりR13で50分
〒992-0052 山形県米沢市丸の内1-2-1
TEL 0238-26-8001 FAX 0238-26-2660
http://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp

伝国の社
米沢市上杉博物館